



まず最初に・・・

ポータブルHDDの自分のフォルダにあるファイルを、Dドライブにコピーしてください。

※ 原則として、授業の最初に、ポータブルHDDのファイルをDドライブにコピーしてから作業する。

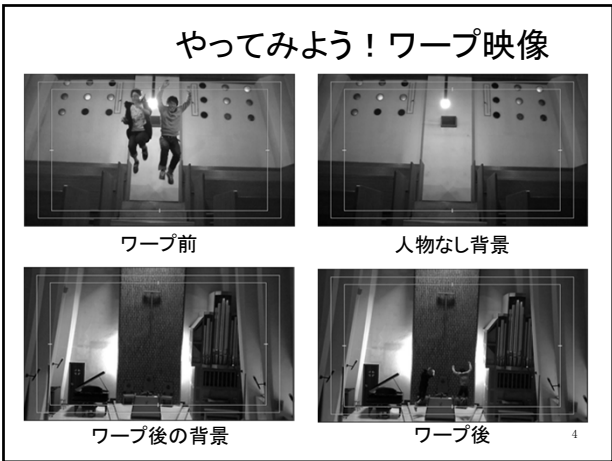
※ 作業終了時に、再びDドライブの必要なファイルをポータブルHDDの自分のフォルダに移動する。

2

やってみよう！ワープ映像

1. ジャンプした直後でクリップを分割し、後半部分(着地部分)を削除する。
2. 同じ背景で人物の映っていない映像を挿入する。
3. 別のシーンの人物の映っていない映像を挿入する。
4. 別のシーンでジャンプ直後でクリップを分割し、前半部分(ジャンプ上昇部分)を削除する。

3



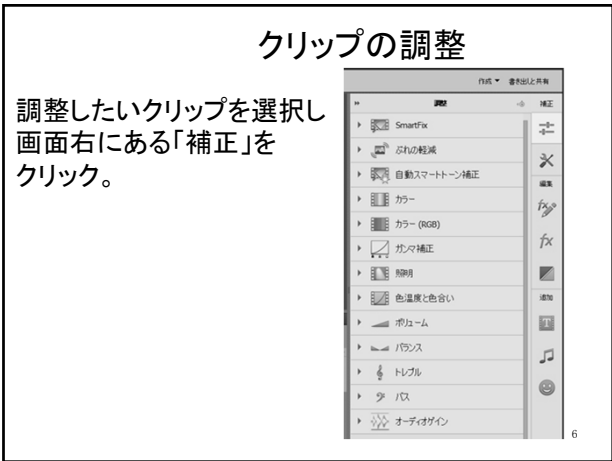
ビデオとオーディオのリンク

通常、ビデオとオーディオはリンクされていて、クリップの長さを変更すると、一緒に変化する。

リンクを解除したい場合は、そのクリップを選択し、

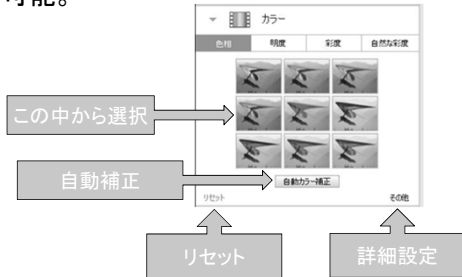
1. [クリップ]→[オーディオとリンクの解除]を選択
(右クリックして、[オーディオとリンクの解除])

5



補正～カラー

カラーでは、色相、明度、彩度、自然な彩度の調整が可能。



7

補正～カラーRGB

カラーRGBでは、レッド、グリーン、ブルーの調整が可能(設定方法はカラーの調整と同様)。



8

補正～照明

照明では、明るさ、コントラスト、露光量、ブラック、ホワイトの調整が可能。



9

補正～色温度と色合い

色温度と色合いでは、色温度、色合いの調整が可能。



10

クリップのサイズ、角度の変更

1. 調整したいクリップを選択し、画面右にある「適用エフェクト」をクリック。
2. 「モーション」をクリックする。



11

モーションの設定(1)

- 位置の調整(ただしサイズが100%以上の場合、位置を変更すると表示されない部分が出てくる。)



12

モーシヨンの設定(2)

- スケールの調整
元のサイズを100%とし、拡大。縮小が可能。
縦横どちらかを変更したい場合は、「縦横比を固定」のチェックを外す。



13

モーシヨンの設定(3)

- 回転の調整
画面の角度を変更することができる。



14

不透明度とは

不透明度とは、

クリップを重ねた場合に、背面のクリップがどれくらい透けて見えないか、の指標。

不透明度が高い → 背面のクリップが見えない。

不透明度が低い → 透明度が高い

= 背面のクリップが透けて見える

15

タイムラインに複数のクリップがある場合

1. ビデオ1(オーディオ1)、ビデオ2(オーディオ2)にそれぞれクリップを配置する。
2. モニタパネルで再生する。
→ ビデオ2の映像が前面に再生される。
トラック番号が大きい方が前面になる。

16

不透明度の調整(1)

1. 調整したいクリップを選択し、画面右にある「適用エフェクト」をクリック。
2. 「不透明度」をクリックする。



17

不透明度の調整(2)

- ビデオ2の不透明度の値を低くする。
→ ビデオ1の映像が透けて見えるようになる。



18

不透明度の調整(3)

不透明度: 不透明度を調整できる。

フェードイン、フェードアウト:

ビデオをフェードイン、フェードアウトする。

- 右クリック→[フェード]でもフェードイン・フェードアウトの設定ができる。

19

トランジション

トランジションとは・・・

2つのクリップを切り替えるときのエフェクト

20

トランジションを設定する

1. 右メニューの[トランジション]を選択する。

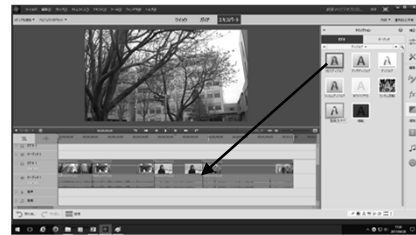


21

トランジションを設定する

2. 設定したいトランジションをドラッグして、設定したい場所にドラッグする。

(設定できるのはクリップとクリップの境)



22

トランジションを設定する

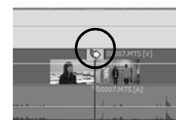
3. トランジションの調整をする(後から調整する場合は、トランジション記号をWクリックする)。
デュレーション: トランジションの時間
配置: 左のクリップ、クリップ間、右のクリップ



23

トランジションの削除

1. トランジションの記号をクリック(明るくなる)。
2. [編集]→[削除]、右クリックで[削除]、またはDeleteキーを押す。



24

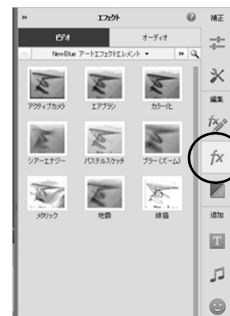
エフェクト

エフェクトとは
クリップに追加できる特殊効果のこと
トランジションもエフェクトの一種

25

エフェクトを設定する

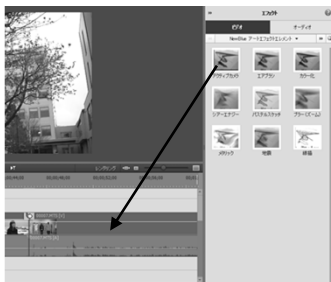
1. タイムライン下部の、
[エフェクト]を選択する。
2. 設定したいエフェクトを、
クリップのところへ
ドラッグする。



26

エフェクトを追加する

3. 追加したいエフェクトをドラッグする。
※ トランジションと違い、複数のエフェクトを設定
できる



27

エフェクトの調整

1. 調整したいクリップを選択し、画面右にある
「適用エフェクト」をクリック。
2. 追加したエフェクト名をクリック。



28

エフェクトの順序の入れ替え

エフェクトの種類によっては、設定した順序によつて、画面への影響が異なる場合がある。

1. 順序を入れ替えたいエフェクトをドラッグし、順序を入れ替える。



29

エフェクトの削除

1. 削除したいエフェクトの右端にある「ゴミ箱マーク」をクリック(または、右クリック→エフェクトを削除)。



30

キーフレーム

キーフレームとは

さまざまなエフェクトを、時間の経過とともに変化させる機能

フェードイン・フェードアウトもこの1種。

31

キーフレームの作成

1. 例として、[ブラー(ガウス)]エフェクトをクリップに追加し、「適用エフェクト」をクリックする。
2. プロパティのエフェクトの時計マークをクリックする(青色になる)。
3. 上部にある時計マークをクリックする。



32

キーフレームの設定

4. 右側にキーフレーム設定用のタイムラインが表示される。

右側のインジケータを移動し、オプションを変更することで、キーフレームが適用される。



33

キーフレームの調整(1)

5. キーフレームのインジケータを動かしてから、エフェクトのプロパティを調整する。

ブラー(ガウス)の場合、ブラー(ぼかし)の度合い、ブラーの方向の調整ができる。

34

キーフレームの調整(2)

- キーフレームは、始点と終点にそれぞれ設定することで、クリップが再生される時に時間軸にそって変化ようになる。
- エフェクト以外でも、色み、明るさ、サイズ、回転などもキーフレームを設定することができる。
- キーフレームを削除する時には、時計マークをもう一度クリックする。

35

やってみよう！人物が消える映像

キーフレームを利用して、画面の人物が徐々に消えていく映像を作る。

1. 同じ背景で人物のいる映像をビデオ2、背景のみの映像をビデオ1に配置する。
2. ビデオ2の不透明度にキーフレームを設定し、徐々に不透明度を下げていく。

36

やってみよう！人物が消える映像



人物あり(ビデオ2)

人物なし(ビデオ1)

ビデオ2が前面に来ているので、その不透明度を調整することで背面のビデオ1が表示される。

キーフレームを使うことで、徐々に不透明度を変化させ、ゆっくり消えていく映像になる。

37

今日のおさらい

- クリップの調整(カラー、明るさ、サイズ、位置、角度)
- 不透明度の設定、フェードイン・フェードアウト
- トランジションの設定
- エフェクトの設定
- キーフレームの設定

残りの時間は、各自で上記の作業のおさらいをしてみてください。

38